

令和8年度 全国学力学習状況調査 分析結果

あわら市金津東小学校

○教科に関する調査結果と分析

【成果】

教科	問題番号	内容	県との比較（+）
国語	2三イ	漢字の書き取り	18
	3三（2）	読むこと・自分の考えをまとめる	9.3
	1二（1）	話すこと・聞くこと（表現の工夫）	7.2
算数	2（2）	変化と関係（割合と基準量）	30.9
	1（3）	図形・測定（直方体の面積）	24.9
	1（1）	図形（立方体の体積の公式）	21.3

国語では、学年別配当漢字の正確な定着や、文章を読んだうえで自分の体験や考えを理由とともにまとめて書く記述表現において、県平均を大きく上回る高い正答率が見られました。これは、日々の漢字ドリル等の定着学習に加えて、国語科だけではなく、他教科や総合的な学習においても「ワークシート」や「ミニ作文」などを活用し、自分の考えを文章に表現する手立てを日常的に継続してきたことが結果として表れてきたことが考えられます。また、日頃から考えを伝え合い、根拠をもって説明することを意識して学習に取り組んでいることも成果として挙げられます。

算数では、直方体・立方体の体積計算や、日常生活の場面における条件を整理して求める記述、割合を用いた問題において、県平均より高い顕著な成果が表れました。定期的を実施しているテストや日々の学習を通して、図形の性質や計算の仕方など、基礎・基本の力がしっかりと身についてきていることが、成果として表れていると考えられます。

【課題と対策】

教科	問題番号	内容	県との比較（－）
国語	3三（1）	読むこと（話し合いの文脈・目的に応じた情報抽出）	25.1
算数	2（3）	変化と関係（単位当たりの大きさと式の意味理解）	18.1

国語では、話し合いの文脈から相手の意図や必要な情報を読み取る力に課題が見られました。単に文章の事実を追うだけでなく、「話し手がどのような意図や目的を持って発言しているか」という背景や文脈まで読み取ることが難しかった様子が伺えます。よって相手の発言の意図を読み取るトレーニングが必要と考えられます。対話・話し合い活動の中で「相手はなぜこの発言をしたのか」を意識させる問いかけを増やしていけるようにします。

算数では、複数の条件や情報がまとめられた資料から、必要な数値を正しく読み取って思考・判断する力に課題が見られます。単に計算できるだけでなく、数値や式が表している意味を理解する力が求められます。計算結果を出すだけでなく、式は何を表しているのかを、数直線や図、言葉を使って友達に説明し直す活動を組み込むようにしていきます。

○学習状況調査に関する調査結果と分析

学習状況調査（質問紙）の中で、「授業中の私語が少なく落ち着いている」「礼儀正しい」と答える児童が多く、落ち着いた学級であること、また「熱意をもって勉強している」と回答している児童が多く、学級全体が安心して学習に取り組める環境となっていることが伺えます。多くの児童が、学級活動を通じて友だちと意見を交わしながら、よりよい学級づくりに前向きに取り組んでいることが分かります。一方、普段の授業の様子を見ると、自分の考えを伝えるのみで終わってしまい、話し合いが十分に深まらない場面が見られることもあります。このような様子から、授業においても、子どもたちが「話したい」「伝えたい」と思えるような動機づけを行うことが、学びを深めるうえで重要だと考えています。単に意見を出すだけにとどまらず、友達の意見（共通点、相違点）を認め合いながら、発言の広がりや深まりにつながっていけるとよいと考えます。